質弾をもつて

皇禮砲を發射

子馴腐ち、平定拔かれ

がせんとしつよある。 お表際となり、この の表準関編山の選

叉復、わが病院船を

支那軍不法襲

上海第一線勇士の遙拜式

二時わが砲兵隊の第一

日午前零時折口鎖一帶の陣地を占領せり

(北京三日發國通至急樂) 三日午前十時十分軍司令

一、敵は全線に亘り退却を開始し南方に潰走中、わが軍は目下これを追撃中なり、

機場は死候果々な

敷の武器弾薬散胤して敵の死傷は約三萬

職された、支那軍の関際公共 応支那軍の不法暴虐事件が基

爆破作業と間髪を容れぬ肉弾戦により三

全軍々刀を抜きつれ

壽陽城門より突入

太原最後の前衛遂に陷つ

代議士重態

ケ國

會議數國

間

に

昇示錠を飲み過ぎ病院にて加ず川松太第氏は一日夜譲つてず川松太第氏は一日夜譲つてず川松太第時間

支那側太倉、辛 印稿發刷行人人人 之 榮 三 称 〇二 聞

総豫備隊を續々集結す 抵抗を企圖

南市の支那軍撤退 蘇州附近に宏滿せる總豫備除は現に黃渡、太倉方面へ、嘉興、紹興方面の都縣は辛莊方面へ夫々夜間徒步で集結してをり、最後的

に競々集結中なること確實と を喚起したるためその撤退を 市方面の支那軍ならびに保安 んとするためと、隣接憲域佛 相界當局が極力支那側の注意 中内隨所に掠奪暴行 特は困難とされてある。特は困難とされてあるが、既に隨所で

口鎭一

蘇州河敵前渡河に

砲兵部隊の殊勳

カ陣地を悉く粉碎

遭ひ卅七勇士は三方 軍身河を渡り北岸の友軍陣地く一度職敵された敵 等兵(岐阜縣羽島郡田身)はしたが、この時尾藤徹軍郎上 したが、この時尾藤徹童郎上最早やこれまでと討死を覺悟 歌奮闘、二日目の夜は一同は

白柴禧、顧祝同、張發奎、陳政しかるにその後日本軍の蘇州河

沿線)辛班を連ねる第三線防禦陣地の設定を決定し、盛んに陣地構築

强行渡河により上海西部職線に於る支那軍の形勢不利なるに鑑み、卅一日更に第二次軍事會議を州河を連ねる第二線陣地に新手部隊を増援して敗退兵を收容し、前線部隊に新陣地を死守すべき

(上海二日登園通) 支那側情報によれば、北部最線總敗退

等の各前線最高幹部出席して對策を協議した結果太倉、黄渡へ京滬鐵道

国まれた地 る庫地を構築 る庫地を構築

軍長湯恩伯は軍事委員會に對 退却したこと判明しなので、議論は、辨長学状秋が保定において命令に違反し、ではないでのでは、一個第三個第三個第三階長

は直に兩名を鋳製に決した。 東浩した結果、軍事委員會 無罰されたい

・ 遺滅すべく一日 東部竹園の堅壘 日未明政然程攻撃を開始し、 宮内少尉は僅か〇〇名を率る に曜り込み常るを幸ひにな 等倒し突き刺し獅子奮迅の職 きをして一番乗りの勇名を馳 きた、、敵の遺棄死體百五十 保定で敗退の 營長、排長銃殺 船に對し多勢を持んで猛然砲 火を浴せ急襲して来た、駒峰 少尉は砲弾雨飛の中にあつて 極めて沈斎に少敗の兵に託し

者は幸ひに一名の損傷すら敢なる奮闘によって病院船 と退却せしめた、この光帯里 関した部隊の救援によつて新 が戦、保定から急を聞いて到 一路天津に着くことが出

各地戰況 (點順)

今曉肉弾戦で奪

敵の死傷三

一帶の陣地

遺向も描がう リュッセルに集つた連中の

マキー特派員の報道によれば、ブリュッセル二日登園通 れば、ブリュッセル會議参加の数ケ國代表の間には日本政府を再招請すべしとの意見が同た。 マヤー おいまれる、シャー アキー特派員の報道によ 市 日本再招請意見現る 数ケ 観政府代表間にはブリーない。 で発しては如何トの意見が有力である。その理由と が有力である。その理由と では日支紛争解決案に闘いる意見が が高力である。その理由と では日支紛争解決案に闘いる意見が である。 ー・ピー特派員の

宋 部 竹 袁 和

じめて可配だといふにあるこれ等代表は日本の再招請な好的精神に出たものでなれる事を希望してゐるでは、不過代表も養成すると信ずる

非で大混亂に陷つてある 上海西部戰線南別鎮陣地も 上海西部戰線南別鎮陣地も 上海西部戰線南別鎮陣地も 上海西部戰線南別鎮陣地も 上海西部戰線南別鎮陣地も 上海西部戰線南別鎮陣地も 上海西部戰線南別鎮陣地も 上海西部戰線南別鎮陣地も 上海西部戰線南別鎮陣地も

往來

男猛富田隊の奮戦

その日く

の子、けふ けふ戦艦に明治節を説

るを得ね 協力への決意は輸よ堅からざ

上海では新平中立地

行く國民使節もある

新京媒連防止委員會等事 高 瀬 伊 造氏 通 澤 同研究所員 史 書 鮮氏 一石炭の焚き方間1000年

祝賀祭ど 觀類のタ

都京煤煙

まで参事官々邸に於て行はれ」の時局に関する極めて意義深を先頭に歩武堂々忠靈塔湾總領事館に於ける拜賀式 関ロ副總監以下日采灣官だけ 約五千は武勳を誇る勳章に至後九時まで開場する筈 明治節を迎へた首都懸察廳で 単え て舉行されめ午後九時まで開場する筈

日系警官遙拜

分會長勅語並總裁宮殿下の 拜國歌奉唱ののち五十嵐職

訓示要旨國民精神總動員趣旨 狀、寄酵表彰狀を授與し會長 影者に功勞章、優龍會員表彰

治廢に當

喜壯次氏等七名を派遣

逃走藝妓

捕はる

芝居の電話で

各種の職業に在

中央本部指導部指導科長中央本部指導部指導科長を育了主体省本部指導科長を育了主体省本部事務長 東吉林市本部事務長 東吉林市本部事務長 東吉林市本部事務長 東吉林市本部事務長 東大部組務部 中央本部指導部宣傳科長を命ず

地震致要こと伊藤スミ (二三 抱護致要こと伊藤スミ (二三 百 関を 路倒し 逃走行方不明と なり捜査中のところ三 日午前 ではないかとのうたがひから ではないかとのうたがひから

國民

使節

立美術協會非上長三郎衛伯の 国人展覧會は今明兩日記念公 個人展覧會は今明兩日記念公 でよある でよある

毛色純白 鼻ご目眞黑 神色リボンの首総あり 二日午後四時頃行病不明となる 御通畑下されし方へ澎湖を呈す 熙光路八〇二 自山住宅一〇五號

けふの佳き日を初日

建國精神宣揚週間

オール新京婦人も合流す

献

金箱を下げ

移

廣

告

橋本中將の講演に感激新

展げられ全市民これに参加し國都は率祝一色に難りつぶされた 新京の奉祀行事は午前九時三十分の市民式奥をトップに奉祀へ賀宴、菊花展、講演と軍徴映畵の國步艱難の跡を偲び患男なる我國民の奉公の誠を偲び愈よ擧國一致諡忠報國の精神を堅め御聖恩 なる頃植田關東軍司令官起つ いる頃でのの記録があつて開宴各々盃を の記録があつて開宴各々盃を でありて今日の住日を誇ぎ宴酬 日本 に腹柄たる 食場に着席一同國 つて大日本帝國萬歳を唱へ一和ついで張瀛洲國國務總理起 き訓示があり九時年終了した

依蘭縣の

第四軍管區麾下共同步兵第〇 匪賊三頭目逮捕

英霊眠る忠霊塔で

鄉軍創立記念式

功勞章、表彰狀を授與の後

戦捷祝賀ミ祈願祭

が潜伏中なるを探知し急遽に明山、慶勝、青山の三頭

目の検導は一大殊勳といは

祭を執行全員神前に整計に到り職捷副賀式並を行進午後二時三十分を行進午後二時三十分を行進午後二時三十分を行進午後二時三十分を行進年後二時三十分を行進年後二時三十分を行進年後二時三十分を持続を執行全員神前に整

一場の挨拶を述べ大日本の挨拶を述べ大日本を率減して退下聯合計算を奏上の大量を変して退下聯合を表して、

真を飾り、中央には大輪、兩面には畏くも明治天皇の御寫

委家

は的 面に

の週

12

在て

祉

名上す用

全員四十四名 福駒中根武井田 原井川本内毛 藤 吉富 清夫男修郎都

たが三日 軍犬街頭に

展開した(宮銭献金箱をかけるの野型にあたつたが市民式與参加者その他市民は無民式與参加者その他市民は無民式與参加者を投げ込み軍國風景を

軍國風景を展開

起

間此段及御通知候也等社儀

兵 本於廣松松上齎高岩伊谷兵舟永松野伊岩庄久獲堤田渡谷岩丸吉村黑中 長兵 板 養並松野井田藤橋崎藤澤松越井本原藤根司川邊 尻邊 下野田壽見尾 健 寫金 茂 村 角 初 第 石 二 憲義太次操能利瑞榮虎太忠精太寬吉綱之金早 能龜貞 衛元 新 華榮郎一正郎郎六吾三華馬一郎勝作郎雄郎崇曲绝本 第

康德會館一階一五八號新京大同大街

見習店員募集 原田組新京出張所

一名 年齢十五歳より十八歳迄の者

京 京田組出張 宗同大衛康機會領內鐵工機械商

所

帝都半本マ前前

記 組 料 し 概 漢 の 菜 の 素

な他學名

電話③四九八〇番

は首都警察廳衛生科に問合期日 十一月五日

康徳四年十一月一日

二葉(提出三ヶ月以内に撮影したる名剌(助産土)君護婦の資格ある者資格護書(五通)の履懸書(二通)の履懸書(二通)

一、募集人員 日人数名、満人数名一、應募者資格 資務を有する者又は高等文章後、初級女子中學校を卒業したる十九歳以上三十度に募手 續 定記書類を首都響祭慶衛生科に持念のこと 1、自業の優盛書(こ近)

首都警察廳巡回 衛生指導員募集

情は以來、コーヒーに、料 がます 明日のランチタイ イムには是非當グリ し下さいませ どうぞ皆様 女補助員 女學校卒衆多少タイピス 布望者へ履懸書ヲ左記宛御送付相成度 個希望の方は本人側来談あられました。 女中内地人年齢を不問ボー を程度の方一名 督程度の方一名 がより出五歳 新發路元商工日報社二階及階下一式 女店員中及 寬城子西安屯 一月二日より 十同 八人 日人尖歸者 亞洲與業麵粉公司 六日まで 4 13 一名 首都警察 御體申上 電話②四七五〇一四七五二 四十歲以下 三十歲前後 あられ度し

古一大古



は三日次の人事異動

井上畵伯個展

午後十時まで

美蔵外▲

日人中異動

系代表穴澤氏) 為職員倉間信行 表穴澤氏)

命ず(衆務) 音都本部事務長事務取扱を

錦州省本部事

中华

▲井上長三郎衛伯個展、公主規制が正日

す

(田田)

中央本部宣修科長を命ず (象務)

今時の主なる機能放送

京西府出

□浪一(東京)市川の海台県の西阪場森織俱楽が

は次の通りで

安東省本部事務長を 安東省本部事務長を 安東省本部事務長を 安東省本部事務長を 第一次本部を 安東省本部事務長を 安東省本部事務長を 安東省本部事務長を

を命ずを命ず夫員

刑事が右電話の家初章旅館 別事が右電話の家初章旅館

與安西省本部事

を命ず平

自己の所在を知らせる

末二

三江省本部事務長榮三江省 謝正工作長 謝正工作長 永 井 定 永 井 定

に手配の結果吉林領際署西口二二二〇番からと剣明、直ち

類

六十目丁二町野吉京新

央本部企藝

けふからの 銀座キネマ三日よりの番組は 左の如く新興一番線二本立で

神秋より初冬にかけて闢進新 原作物、三種のオリデナル物 を以て映画鏡線に大編像派行 か敢行することになり各方面 が取行することになり各方面 たにこの大空軍に突如として たにこの大空軍に突如として たにこの大空軍に突如として たにこの大空軍に突如として たにこの大空軍に突如として たにこの大空軍に突如として が動待を集めてゐるが今度新 があるに全篇を維々しき とする野心作である、キャス とする野心作である、キャス とする野心作である、キャス

H 六 每

電三三三四

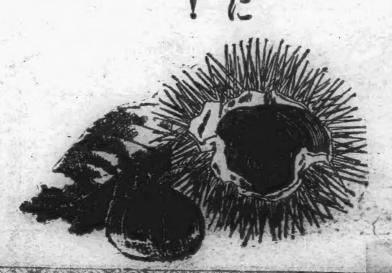
伎 舞 歌 大 演

場ニ全花の後銃局時端別

新 京 七八



皇 問



月の満洲 ども増

山海鵬 17070 1 本1 帝盧昌 142 第 一 本1 合 計 合 計

さなのです

下

ショウ

豐樂劇場

近日公開△

△近日公演▽

ハンガリヤ

で来るさ、彼女 で来るさ、彼女 の変になる。 な女

りだするさころへは、

…來週の月曜日には 電力

二十九日より十一月四日迄 階下

東海 美女傳 制服を着た 藝 妓

東實映畵

だ、新京で初めての「ふぐ出前専門店」であります 御家庭で安心して召上られる珍味なる「ふぐ料理出前」を本日より始めまし

獨特の香りこ風味を持つヒレ酒 前專

先づ生地を一覧下さいませたの様な特價を以て御提供申上げま熟練せる職工が、特に入念に調製の上

∧∧∧≘⊙■街鎖連連大

モーニング特價調製

近く資源調査隊を派遣す

滿洲中央銀行調查

말

ので、同窓會の幹事だらが結婚なさるこさには、駅日よーーけふは

一お出掛けかっ

を対している。 では、 に行っ、 に行っ、 に行っ、 に行っ、 に行っ、 に対している。 に行っ、 に対している。 にがいる。 にがい。 にがいる。 にがいる。 にがいる。 にがい。 にがいる。 にがいる。 にがい。 にがい。 にがい。 にがいる。 にがい。 3.40 7.20 12 0 3.54 12024

5.86

修羅八荒前篇 1.29 4.44 8.06 2.31 5.58 9.15

朝日座

京

新京丰李

良人の貞操 12.10

近 演 日 てえ燃に氣意の新革界浪

座生新

高歌凱 京來躍勇にから







倉席折詰仕掛し 廣 電話③三五三五番

其他御好みに應じます 御一人前 金 旗圓 理 五

電店主人は内地下關にてふぐ料理無門店を経奮して居りました故管機御安心

用用

九八七〇〇〇

のですが……一笑でおいたした――僕はたいだした――僕はたの三

映画御案内

禮

用

すが……いづれ

たる音響とよるに手榴弾が炸に負はず、酸いて同日午後三にも傷ついたが、本人は機傷だ頭に特別中の軍馬六頭にも傷つかず、同月廿八日夜での飛渡地で就髪中、敵機関でなる。 との所からシューンと言をたてム飛来り離本一等兵の枕にてム飛来り離本一等兵の枕にている。

然 若し腰を下して火に當つて心 だら一後の下にやられてゐた が たら一後の下にやられてゐた 頭 のだ、〇〇根據地で藤木一等 頭目をさましたら枕許にあ かたらすぐそばにこれが落 したったらすぐそばにこれが落 したです。 変形軍の弾なんか たです・ 支那軍の弾なんか あるもんですか

不法な支那兵

敵を南方に胚迫しつ」あり

敵第一線を爆撃

る浦東敵野砲陣地を潰滅すべ

(用。柳华峰木)

するこれら敗選兵には何等の最意なく文字で三日午前明治節の住日を期して大擧出動の堅確潰えてより三日午前にはまたも第二

機断忻縣を拔かれ大混亂を生じ一路太原へ太原へと退却中で

たが、四散なく忻口組

おが軍將兵の土 烈を極めてゐる、明治節にお る内に銃砲撃は殷々として縣 はます (困難 て第一線の攻撃はいよ (猛)は雨も霽れ密雲低くたれさが 政行中であるなど渡河作業 河を敢行、敢退する敵を追つ 浮足立つに至つたが、三日棚 政行中であるなど渡河作業 河を敢行、敢退する敵を追つ 浮足立つに至つたが、三日棚 政行中である。 はます (の数主要陣地)

通り謝の如く南へ南へと敗走。山西の中権太原は二日の爆撃に引続き雪崩れを打つて流入するこ大孟鎭西方を退却中の敵大部隊に對し大爆撃を敢行しこれに全滅に近い大打撃を襲へたが、四

微傷だに

負は

據り頑強にわか地上部隊の進撃を阻止し

向ひ追撃中

暇場は快晴無風にして温暖なり (二) 栗飯原部隊は午前七時五十分金山鋪の南端に進出せり街道を南方に向け退却中なり(二) 栗飯原部隊は午前七時五十分金山鋪の南端に進出せり【北京三日發凾通』軍司令部三日午前十一時十分發表=(一)敵は主力をもつて忻口鎮、

(11)

わが軍は和田工兵部隊に決死の爆破作業を命じ、和田工兵部隊は敵の十めので、きり立つた峻嶮に赤旗を掲け横穴をその山腹に穿つて陸れ、力もので、きり立つた峻嶮に赤旗を掲け横穴をその山腹に穿つて陸れ、力もので、きり立つた峻嶮に赤旗を掲け横穴をその山腹に穿つて陸れ、力はが軍にしばく一苦職に陥つたが、ある後、神道になった。

等み安心しきつてゐた陣地を天地の底から天空に吹き飛ばしたのであつ、 底な作業とされてゐるので、敵もおそらく豫想しなかつたところであつ 臓な作業とされてゐるので、敵もおそらく豫想しなかつたところであつ 開鑿作業に移つた、厳前の坑道開鑿作業は工兵の作業中最も困難且つ危 開鑿作業に移つた。厳前の坑道開鑿作業は工兵の作業中最も困難且つ危

泥濘の海を冐し進撃急

支那軍全線的に浮足立つ

原街道を潰走

を爆撃中なり(三)正太線方面西進中の小林、岡崎雨部隊は壽陽陣地における敵を撃破西方ににも敵陣を突破し忻縣を占領せり(二)わが飛行隊は忻縣南方三里の大孟鎭附近を退却中の敵〔北京三日發國通〕軍司令部三日午後零時五分發表=(一)福田快速部隊は午前九時卅分果敢

The state of the s E III

411 朝 【頁二十刊夕朝紙本】

梅科

吉川商會 林甲 板

意二九一三

翔攻略を目指して奮戦する 【與茹二日發國通】 一日廟南 彈雨の中 兄弟の

劣らぬ活躍

極し張の中に再會

に到着するや愛媛県今治市三 なくそのま♪○○の第一線に つた、あまりの寄週に兄弟二上にと一抹の不安を抱きなが、この雕の主が意外にもた。 神を分つた、この兄弟にはもこと一抹の不安を抱きなが、この雕の主が意外にもた。 神を分つた、この兄弟にはもこと一抹の不安を抱きなが、この雕の主が意外にもた。 神を分つた、この兄弟にはもこと一抹の不安を抱きなが、この雕の主が意外にもた。 神を分つた、この兄弟にはもこと一抹の不安を抱きなが、この雕の主が意外にもた。 神を分つた、この兄弟にはもこと一抹の不安を握いたが、この配の主が意外にもた。 かけつけたところ職と散る統 人は目頭をうるませ、手をと長にと一抹の不安を握いた。 かけつけたところ職と散る統 人は目頭をうるませ、手をとしてと一抹の不安を握いた。 この歌の主が意外にもた。 この歌の音楽に兄弟二に到着するや愛媛県今治市三 なくそのま♪○○の歌一線に つた、あまりの奇遇に兄弟二に回着するや愛媛県今治市三 なくそのま♪○○の歌一線に つた、あまりの奇遇に兄弟二

山西作戦軍司令部を猛爆

高部隊は敵の山西作の軍司令部に猛爆を加へ敵の 床上空に飛翔猛烈なる敵の對空射撃の中に猛爆を

合し約六時間にわたつて北支 に正副總裁以下在連各理事集 後一時より星を浦譲鐵總裁邸

噴敵陣地の地下に突入

和田工外死の爆破作業

彰徳万面の敵

續々退却中

※ 全質田金銭氏(技師) 三日 ※ 京ヤマルホテル (南菜) 傾向り

那軍は土氣沮喪し全く**養意を** され大打撃を蒙り、ために支 なれ大打撃を蒙り、ために支

▲中畑憲夫氏(満州航空會和社員・同中央ホテル

清空空場 中に明

(-)

小林部隊の勇姿 橋上で萬歳

忻口鎮皇軍

各地皇軍の奉祝風景

戦線に壽ぐ

明 治 節

塚本部 軍艦出雲、陸戰

【上海三日盈圓通】上海軍三

上海軍發表

又も病院船砲撃

大り | 上中兵曹長戦死 | 上海三日發展通」帝國海軍 地の | 上海三日發展通」四行標書 | 2000年日發展通」帝國海軍 | 2000年日發展通」帝國海軍 地の | 1000年日發展通」帝國海軍 地の | 1000年日發展通」帝國海軍 地の | 1000年日發展通」帝國海軍 地の | 1000年日發展 | 1000年日 | 1000年日

再び日本参加招請か

二日開會さる

日暹新通商條約

察哈爾方面の

9 の現狀及び繁來の希望等を語の現狀及び繁來の希望等を迎へ蒙古軍

皇軍慰問より歸りて

(新京にて)

寒河江堅吾

と治りを重ねて各機關の訪問と各方面の観察に努めたのであるが、その間数へられたこと、心を打たれたことの多いと、心を打たれたことの多いと、心を打たれたことの多いと、心を打たれたことの多いと、心を打たれたことの多い

等は星の踏み機もないまで

看平地泉着、回州

其新戦場

3、3のが日本政府の意識不のが日本政府の理由である。その理中の理由である。その理中の理由である。その理中の理由である。その理中の理由である。

(__)

歴史を無視せる ルケ國條約會議 支那事變の禍因は 支那の排外政策に胚胎

的の基本精神は支那に 門の政府を樹立するこ

つて指導された一九二六年のしかるに事質はどうであつ るものではない、

へた國はあるま

殊に日本の 府の排外運動の鋭拳が英國か 集せねばならない事態に直面 を は は ならない 事態に 直面

約の精神は國民憲革命軍ぶ反称的國の好意に基く九ケ國條の好意に基く九ケ國條の好意に基く九ケ國條 態度を持して来た、また條約 の精神に則り努めて列國との の新神に則り努めて列國との の好意は支那の關稅自主権の 回敗に對し率先これを放棄し 結以來終始支那に對し 本の對支外交流

と共に如何に熾烈となつて来たか、この吹き荒ぶ排日激化、に隠忍自重し沈默を守つて来たかといふことは一九三六年たかといふことは一九三六年たかといふことは一九三六年たかといふことは一九三六年でかといい。ことは一九三六年でから、ことは一九三六年である。

實上の問題として競生して來 | 戸尙一の四氏が大川旅館にられればならない」事態が現 鎌趾員田中武夫、漢口在住

の頂際に達したので の頂際に達したので の頂際に達したので の頂際に達したので の頂際に達したので

は、この事件に對しても日本軍 今次の行動は支那を侵略せんこの事件に對しても日本軍 今次の行動は支那を侵略せん であいまれた。 「大尉射殺事件の不擴大方針をと がために企同された事では 対 で で は からにまた上海における大山 した事質はないばかりか、南 大尉射殺事件の競生により第 京政府の排日運動煽動の事質 した事質はないばかりか、南 した事質はないばかりか、南 こそは九ヶ國條約を干犯 した事質はないばかりか、南 こそは九ヶ國條約を干犯 した事質はないばかりか、南 に から野 したものと言ふこ

然らしく割ったのである 急迫せる事態の中に在 策を講ずるかの該路に

あ過去においている

事態は日本が支那 政策と支那暴徒の在支日本人 南京政府の多年にわたる排日 原既に達したので 要するに今次の日支事件は

とが出

鐵道を

氏の居宅

歴三郎氏が午前十一 地震を出でム日本租 中、日本租界と支那 中、日本租界と支那 中、日本租界と支那 中、日本租界と支那 の熊を見計ひ背後か ル統で狙撃しその場

を でする出先外交機関の常 壁の魔風は遂に滿ソ國境地區 市中心とする出先外交機関の常 壁の魔風は遂に滿ソ國境地區 中にあつた經營上の實権を剝 ウスリー州を席後し州黨委員 市 中心とする出先外交機関の常 壁の魔風は遂に滿ソ國境地區 ウびに領事を罷免し暫定的に として槍玉に上り眼慄と恐怖の 全権後任としてエジョーノフ の巷と化してゐる

日本租界に

自動電話局を

新設

ソ聯の防諜關心今や狂的

の統制下

二書記バラノ▲ウスリー 東京員會第二書記バラノ▲ウスリー 東京員會第二書記ロフリン・エム 大多員會書記シバコフ・本男 「大多」のでは、一本の 大多」のでは、一本の 大名のでは、一本の 大名ので、一本の 一本の 大名ので、一本の 大名ので 大名ので 、

四、イ、ワシントン會議 学、二時間) 学、二時間) 学、二時間) 学、二時間) で、選乗政府 の、近江財閥 の、近江財閥 の、近江財閥 の、大、選乗政府 の、大、選乗政府 の、大、選乗政府

を一部改和、益々强化すると 民政府は職時最高政府の組織 域は、関 の 張化に 必死の努力を拂ひつ ★注観の的となつて 共に名稱も改變して大本營と

横けつい

を赴任せしめたが、いよくして秘書の位置にあるアンドレエノ少佐を全権に任命すると、 いまく

任福井縣知事

山四男美

支那大本營の防空部

空軍再建に狂奔

南京政府を

一部改組 大本營を新設

官のトリオによる最も注目す り、うち甘蜜は既に西安を極 かな求めることを根本とし、 バイロット約百名がツ鬱にお かな求めることを根本とし、 バイロット約百名がツ鬱にお いて猛訓練をうけつ」あると はいりのでは、 ではいる。 いかして空軍再建の方 り、うち甘蜜は既に西安を極

をツ聯で猛訓練

温迫によ

べ・ウ

日本女學生に手紙から

幹部來社

ソ聯弾壓の

國境を越えて結ぶ友愛の華

滿ノ國境地風

展に伴ひ南京方面の情勢は登

、 積し現世さながらの懐豫地獄 を関内全土に累 を関ウ金土に累 性者の残骸を関内全土に 區に及ぶ

が打ち降し

(ゆへることになつた) 像へることになった 遺徳を偲び

の御用は

和 殿 兄 弟 商 中 数 号信用の出來る店

ての美談の生は大矢和率天本 のとして注目すべきである との美談の生は大矢和率天本 のとして注目すべきである である この美談の生は大矢和率天本 のとして注目すべきである たいて施行される 満洲観画等文 である しいて施行される 高洲観画等文 である しいて 施行される 高洲観画等文 である

▲五日(金)午後七時牛 ※現代基督者の使命』 川江 局長 川江 局長 ※同治街 大興寨師室 「余の信仰を語る」 中央警察學校

北安大路風柳

時八後午―時九前午 診休後午日祭曜日 ず非にり限の此は地名 光線療法科 ントゲン科





御報知次第店員參上

澤田參事官

治廢記念放送

金銀賣買は専門店の 高價買入

東京國通 加山温岡縣夘事 東京国、東京國通 加山温岡縣夘事 東京國、東京國通 加山温岡縣夘事 西東京國通 加山温岡縣夘事 小寅 家 次回後の 保險は大きくて確實な 電話(三)五 取扱は 六三〇

地方長官異動

下ス 新京附屬地内ョッ姶場ニ搬出セル屎屎馬塞ヲ下肥ノ**硫桃** 昭和十二年四月一日ヨリ同十二月三十一日迄**満九路**月間 新京區公示第二二號 特約店 西村洋

帝国議會協養の性質如 一時間と について知るとこ 質と價格との関係 ルマシガヒ油着ちぐすら

(E)

の『開東軍々歌』に至り場督 の『開東軍々歌』に至り場督 の『開東軍々歌』に至り場督 の下に盛大なる遙辨式を撃行し住 の下に盛大なる遙辨式を撃行 の下に盛大なる遙辨式を撃行 の下に盛大なる遙辨式を撃行 の下に盛大なる遙辨式を撃行 の下に盛大なる遙辨式を撃行 を強りつぶした、この日總領 の下に盛大なる遙辨式を撃行 と感激の裡に明治天皇の御俸 を強りつぶした、この日總領 の下に盛大なる遙辨式を撃行 と感激の裡に明治天皇の御俸 を強りつぶした、この日總領 の下に盛大なる遙辨式を撃行 とにはか、民會、國防婦人會 や等単校、減鎖計員會等でも とにはか、民會、國防婦人會 を強りつぶした、この日總領 の下に盛大なる遙辨式を撃行 とにはか、民會、國防婦人會 を強り一部といる。 を強り一部といる。 の下に盛大なる。 が、減鎖計員會等でも とになる。 を発行した。 とはか、民會、國防婦人會 を発行した。 とはか、民會、國防婦人會 とはか、民會、國防婦人會 とを認めの裡に明治天皇の御俸 ととの。 の下に盛大なる遙辨式を撃行 ととの。 ととの。 のでに必ずると同時に非常時 を対した。 ととの。 のの下に盛大なる。 のの下にないて、 ののでした。 ののでも、 ののでした。 ののでした。

明治節祭御儀

親の御祭典を行う

五萬突破目指

慰問袋募集更に拍車

一戶一袋。の宣傳ピラ配布

そつくり献金

消費組合宮崎君から寄託

上歩合金を

工催の 募集の無旨を耐り込んだ宣傳 事業の無旨を耐り込んだ宣傳

を寄贈したがそれに對し上海野京総友會では過数上海出動

海友會に謝狀 大川內司令官 れたが、同十一時頃から

曾場も破れよど ふ軍國の調

映畵、講演に昂る銃後の熱誠 昨時局下の奉祝風景

捷慶祝大會は三日午前十時よ 承德=【承德國通】協和

們嶺スキ

場登場

温泉を近くに冬のオアシス

總局が旅客誘致宣

| 特別 な客跡独宣体に乗出す

友會に到着した

こと」なってゐる

は御郷重なる慰問に地、御禮中上候第一線によりる語等は続後の各位の議を達し國民の憲法を請し居民憲憲を持たまとを期し居の原語を持たるとを期し居の原語を対したといるという。

ン園茶、解棋に打興じ霧堂海 員に名残を情みながら層路に 線の軍用犬を瞬間しませらの黒瀬夫人らがそれなくり第一

本公司年前十一時二十五分新 全社日年前十一時二十五分新 全社日年前十一時二十五分新 全九日午前十一時二十五分新 全九日午前十一時二十五分新

U)

新京署

に付是非御來店御引立腸り度御待中上げます。現代向の新品多數取揃へ特別廉價を以て御下命に應ずべく愈々寒くなつて參ります皆樣には防寒の御用意は……弊店

業一各種毛皮婦人洋裝、

靴及毛布

婦人セータ、

新挑並既製品

銀 座 キ キ

+

附屬建物竣工

総合はこの程蔵工したが、こ ・三階官舎の三階建煉瓦造 ・三階官舎の三階建煉瓦造 ・三階官舎の三階建煉瓦造 が落成祝賀を兼ね三日午後

物言はぬ勇

士にも

新京市立醫院の 創立一周年記念 三日創立滿一周年を迎へた新京市立醫院では午前十時より 徐市長及び同院生みの親たる 黒井技正等列席のもとに記念 またを奉行し歯科創設に依る内 部充質を自祀し夜は午後六時

職員採用公告

て入院患者を慰めた 」「事變ニュース」を上映し 「不要となった」で、 「不要となった」で、 「不要となった」で、 「病を慰めた」で、 「病を慰めた」で、 「病を慰めた」で、 「病を慰めた」で、 「病を慰めた」で、 「病を慰めた」で、 「病を慰めた」で、 「病を慰めた」で、 「のので、」で、 「のので、 「ので、 「のでで、 「ので、 「のでで、 「のでで、 「のでで、 「のので、 高山一三氏離京

羅州國の治安醫帽に功精を整 した緊務司警備科長高山一三 氏は蔵よ内務省復歸に決定、 木日正式發令をみることとなったので四日午後九時五十分 前協和會事務長

新京南

象臺

廣告

間此段及御通知候也の一般同館内に於て左記室へ移轉仕候が社 康德會館一階一五八號新京大同大街

館原田組新京出張所館原田組新京出張所



能 話 ③ 二

温い慰 軍犬支部員街頭進出 問金募集 上海《軍特別陸職隊司令官

兵士ホーム

祭日で大賑ひ

と書いた献金箱を省から吊した犬を率いて新京神社々前に 起ち午後五時過ぎ引揚げたが 一般市民からの同情の現はれ 約八十四の額に達し保員を感 教させた、なほ支部では六日 七日兩日中央通、吉野町入口 安東飛行場の

新京海友會嚴

学行された、献納者側辺浪頭飛行場において 成乱)安東飛行場の献 補官民および

吉田健介氏歸國

近日中に日本内地に歸國する介氏は今般都合により辭任し 灘撫順署長赴連

分新京薩殺あじあにて大連に離撫順署長は三日午後二時十

馬車内の忘れ物

行はれ午後二時間會した、な建国の新航空路は開設され第一便は鑑大な見送りをうけて

里河

を一段と形つて本献に寄 そのまる被金したもので同君を一段と形つて本献に寄 そのまる献金したもので同君を一段と形つて本献に寄 そのまる献金したもので同君を一段と形つて本献に寄 く本社では直ちに戦をうまる月分

池邊畵伯の筆になる土産品

筆になるもので三色で忠霊塔 に責出すこと」なった、同画 に責出すこと」なった、同画

都名所入り風呂敷

職光協會推奨品として 中であつたが、この程 中であつたが、この程 中であつたが、この程 の製品が国いたので近

|新京神社の戦| 三分會に分る

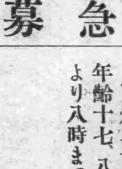
賀式と祈願

(中) 転



と保證致します 十一月二日より 同 六日主ア





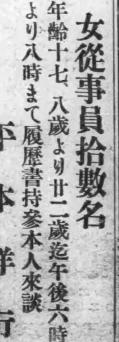
植木光代

出自張宅

教授

六五 三八





(四) (可認物便與建二元) 一十年二十和昭 (日) 蜒 日 京 木) 本、二海講演(東京) 軍需品と國民生活に就いて 陸軍主計火佐 清水第三 大、二海講演(東京) 本1ス、当年1ス(東京)。 本1ス、当年1ス(東京)。 五、アンダンテカンターを1(東京) 一夜」(東京) 一夜」(東京) \$ 110 m n 1 大、二〇コド の軍要性の軍要性の軍要性の軍要性の軍事を対している人口問題 一、ローレラ 〇〇經濟市况、大述、新 〇〇經濟市况(大連、新 けふの番組 郷の ダンテカンタ スコット作曲 ジルヘル作曲 外件 村岡で子 入地報のお 大地報のお 大地報のお ン鈴木 二三雄作曲 给木高久雄 给木二天雄 パート作曲 まう言はれると、「はなる。」 「それも、さうだなア……」 「それも、さうだなア……」 「の能な、その間に用始々やしず といふより外はないのでした。 じて歌いたりしました。 「かい と、中別ほど過ぎると、お倒け しかし、さうは言ふもの」、「断 と、中別ほど過ぎると、お倒け しかし、さうは言ふもの」、「の能なん」 る水臭えとと言ひなさんな。しよっちり世話になりづめで、こんな。 いなくちゃ、臓なしは出来やしい。 けりや、おいらは、ちつとも続はたって行けるけえ、超等さへ概はた んぢゃ大脈だからさ」 えか。いつまでも、そんな 夢中でとしまで 遊げて 深たけ 眠さらに見るのです。 み出しながら、お銀の顔を、不慧 マア上んれえ。お茶でも沸かすか に限をかけて国でかえる。 「ありがたう。だが、あたして、 いらが譲つて行からと もつれ糸(コ) 市松は、手を取らんはかり 義人長七郎 (Marking) 竹中川 て、ふるへて囲ます。 やうです。 お根は、香々と贈りに落ちてし てみると、火のやうな熱です。 りて、お飯のからだを抱へまし 「あることはあるが、どうせ、マ もめの深だから、無の別いだめは がどうじょうでえんだい」 市板は、簡単でししまひま 豊味へいソッと横にしてしまひ 動きつばなしになって西た自分の て、お根は、まるで死んだものと 市松は、味足のまんま、飛び下 果になったよう と、市松は、統もとへ続行り谷と といって、 つて行きます。 その強へ、ぐつたりと顔を併せ それを市松は抱き上げて、駅に お銀は、ガツ 「おフ、服が配めたかい。気分は 酸尿へ横にされると、そのま 「ねえ」 「ありがたう。は脳で、よつほど 試みに顔に手をやつ そいつは、塩かつな 散器はタ 男女を開はず 東三周路熊電楽下東電場に送りものは本會へ 野(ま)一〇八五 古り ナンデモ 南衛神祉東一丁 稲荷神祉東一丁 和八商店 タイピスト 音別タイプ综合教授 日本タイプ綜合教授 日本タイプ 総 時 新京研設器 (密都キネマ館) 書覧 タイプライター 論洲 電影 の (2) 画園 五二 巻 大夢集 各一般女中及 各一般女中及 各一般女中及 等は一次本語質、女給化、 女店質、女事務員、水イビス 人工工作。 大は「女子事門」の 女は「女子事門」の 大は「女子事門」の 大は「女子事門」の 大は「女子事門」の 人會體意 永樂派遣婦會 多し幽州は専門 電話。五六六九番 派遣婦會 古者多服オーバー 第日 第二六七二七番 人を雇はれるなら 口口(亲)內 大和運輸公司 東一條通五六 九州堂療院 はゆつざ 無京告存町一丁目 商業學校御指定 ほね お茶と 勝寫・代書 勉强引受二秦公司 **今辨慶整骨院** ロシャ菓子 定 骨 みどり茶園 小原整骨院 末松接骨院 中国中田(∞)■ りに依る運搬 げ電話即時配達 本 暑前 最話()五三六一条 # IIIOIII の中十四の シ * 七點五五 院療紅仁京地養大士五通條一次 第八階二ルビ村間 傳お灸 新京唯一の立喰 新ス東の 及鷹保護。 鎖痛· 肺湯湯 を記るでする 電三二八二 三キス 國光 吉光堂療院 楽略衛生展貿易なり 大大小科理と 古光堂療院 過應し下痢質機病を強助で治院を強助 他家傳良薬あり 三笠町一丁目二四 清水堂鍼灸院 氣分の新八 電話の六七二七番 奉仕堂藥房 を多六一三六番 当京 明るい理髪



目科業營

九ノ一町船入七六二大〇世

店話電本荻

金融

ふ合に間もに場急なんど

始開日近 館真寫速快 番3035(3)電

速迅切一极取

を始 一度御試食を! 電話②一六三六 めました

下脚生粹の 市場内支店







東二條通五〇 (大和浙館向側)

0





話即身金融 格名其他多個貨 僧異質は老舗 なる質社へ!!



000000000 話(多)三六 船 町 石 承 11 ヤ俳 街通

特行船車連絡切符を 帳 簿 刷 CHARLES STREET STREET STREET 隨意 CANAL SANDARAN AND LAKE 年 同大街出機的 生命は完全に保護されまず 特別はいつも正確に其の 大・龍・堂 に御指定順ひます時計はいつも正確に其の店として最も信用ある蓄 店として最も信用ある蓄 活紙和平 字型洋版 一度は時計に油 社資 銅式オ 力帳セ 放障お手入れの際は何率技術、二鹿必らず油を興へ、いつ 造版簿ツ 赤 販引製印 十字杜松章 5 賣受造刷 新京日本橋通七十四番題 行 25 工管報 P = == ^ ^^ 5 === 를 르=

の歩兵を率る五百餘の敵兵の

敵はわが軍の猛撃の結果形の王靖國軍兵士の言による

くられ捕虜となつた敵七十年

五百の敵を撃退

勇敢な鈴木軍醫少尉

○根據地を離陸、太原市外の ・保護型を機無事勝選、さら ・保護型を機無事勝選、さら ・保護型を機無事勝選、さら ・保護型を機無事務選、さら

平 率るて敗発兵の横行する中を 小銃、手榴弾の洗透を受け年 板容手當中十二日午前十時頃 坂西、石黒南部級に狭撃され た約五百名の厳兵は一軒家に 向って喇叭を吹いて突撃を開 向って喇叭を吹いて突撃を開 中上猛射を浴びせかけて來た

【〇〇四日設園通】軍需船多 製香港到着の報を得たわが器 軍渡洋部駅〇〇磯は石井大尉 を指揮官とし三日午前九時悪

さらに軍儒品を補助し北上中の軍用列車に爆撃を敢行、全 弾命中、敷棚は空中に吹き飛 びその他は粉砕、多大の教果

軍需品滿載

四日午

七時半早くも太原北方十里の地點に進出し日下急追中であるが、地泉四日發國通」潰走する敵に息もつかせぬ猛進撃を續けてゐる

わが猛進の結果、太

支那の方が一足お先きに大 、本營なるものをこしらべたと

日

世場のほめ左記

上上 # # ナレ

た

りはせぬかりはせぬか

宇

治茶ご茶道

石

店

海軍渡洋部隊

略部隊猛進撃を續

陷落はほど近きを思はせるに至った

鐵道司令部を爆

潰走の敵軍士

B

B

口本に氣兼ね A A 日四月

IF IB

-+

各國代表何

各國代表の態度に支

並んでゐる、會議は議長に選 「氏の開會の挨拶に始まり、先 でライス米代表が指名され て立ちスパーク氏の開會演説 和解に到達するやう導くに

氏の副會演説左の如し 白外相開會演說

は平和達成のため列國と協請國たることを受諾したの

と力競し、イーデン英代表も と力競し、イーデン英代表も

た彼くマレスコッチ伊太利代表の演説が日本支持の態度を表の演説が日本支持の態度を変加いた、各代表の演説に支那代表の間に失望の色が濃くなりはじめた

直接行動なりと弧調して左の解決の最善手段は日支南國の解決の最善手段は日支南國の

てやまない、リットン調査に紛争の超つたことを希望したが行はれることを希望したからる紛争が再致せざる如き徹底的解が再致せざる如き徹底的解

は瞬く間に盡きてしまつたのへながら銃を執つて應職する

東河、大汶口に

海租界境界附近の不祥事件に投物の申し込みが多い、なほと

ステリュッセル三日登園通り たケ國條約會議は開會第一日 にして早くも失敗説が護頭し にして早くも失敗説が護頭し であるが、英米兩國の協力が 案外脳いことはデヴィス米代 表の演説の無力さにも関はれ

◆大木湾氏(商業)同 ◆長野豊氏(第一製薬社員) 同窯薬ホテル 「高窯菜ホテル 「高窯菜ホテル 「高窯菜ホテル 「大屋旅館 ◆長尾行公氏(浦銀社員)同富 ◆長尾行公氏(浦銀社員)同富

新築記念抽籤全額拂戻し大賣出し

票の末字が九番當の御方は何卒御引換に御來店下さいませ

期

籤番號發表

番號は警察官御立會の上嚴重抽籤の結果上記の通り當籤致しましたから御買上傳

日11月5日より

▲三木岩一氏(會社員)三日 ・本高等版氏(同)同 ・本高等版氏(同)同 ・本高等版氏(同)同 ・本高等版氏(同)同 ・本高等版氏(同)同

八歳より廿二歳迄午

員拾數名

こどになる こどになる

た 三八

0 は

石炭の焚き方講

0 用の コ屋洋服 出來

一前十時三十分か

傷つ

ける部隊長の

名馬を見舞ふ

郷里の少女より可憐な慰問文

式後直ちに熱戦滿場手に汗

史 書

學 人名克政府簡任官以上 總務廳 高倉、田村各學事官 學、原、岡田各理事官 學、原、岡田各理事官 學、原、岡田各理事官 學、原、岡田各理事官

增田撫順地方事務

候(同)各機關訪問(同) 所為大臣訪問、陸海軍大臣訪問、第一師願訪問、十二日、宮神拳內、衛職立所訪問、十二日、宮 領領鎮守府訪問、十二日、宮 市拳內、衛職公)、各宮家伺 中拳內、衛職公)、各宮家伺 中拳內、衛職公)、各宮家伺

の期常については首都懸察標の期常については首都懸察標準であつたがこの程全部都顕中であつたがこの程全部が顕して来た、倚新天地には通知して来た、倚新天地には通知して来た、倚新天地には近知して来た、倚新天地には



機關に謝意を表するため福満洲國政府は日本政府各場治療條約日補の調印を終へ

る「新天地」に移りて

第一陣港階の多初洋東スミー
・ 十五名 んさ子市人共

警備隊遺骨

い職員ならびに生徒ない。

第二陣十五名第二陣十五名の豫定

た部隊長は

鉄後後の國民の熟誠さには深 傷も癒えたので昨日乗つて みたがもう大丈夫だ、この ことを深切なお嬢さんに知 らせよう、神安號の御禮も 一緒に書かう 職んでゐ

佐藤壬一氏赴任

治外法標撤廢並に南滿洲鐵道 株式會社附屬地移線調印式列 席のため藏鐵副總裁大村卓一 氏は四日午前八時十分の列車 で來京した。なほ郡山理事は で来京した。なほ郡山理事は

出征し、その後七代の将軍にと嬉しさうに限を輝かしてるとない。この名馬神安號は過ぐるとない。 深上任から昭和製鋼所工務部保主任から昭和製鋼所工務部は四日午前十時酸はとで出資したが驛には清水庶務課長ら中銀行員を始め在京建築所工務部中銀在任四年八ヶ月全瀬水底務課長ら中銀在任四年八ヶ月全瀬水底務課長ら中銀在任四年八ヶ月全瀬水底務課長ら中銀在任四年八ヶ月全瀬水底務課長ら中銀在日四年八ヶ月全瀬水支衛任幹事として國都の煤煙防止委員會、なるものがあり各方面から情大の地震に対した功績は偉大なるものがあり各方面から情大の地震を表表して、同氏は大変に対した功績に関係がありない。

各國洋 酒塩間

酒場オリエント

京

唯一

の本格的酒場

閉店特別サー

カーピスス

生ピール

0. 七五

心あれば兵舎に見舞ひ 部隊長も非常に不憫がり暇さ 仕へ今度は二度目の旧陣で、

早く癒つて臭れ

と愛撫してゐたものである

張總理東上の

準備員東上

宿下御

副タニ食附 三十四圓より

新京富士町二丁

日角

新京日本領事館西側

T. 2 一 图 九 篇

電画二六〇一番

二中井の 国民精神作 日本刀展 に叫ばれて ある折柄三中井百貨店では六 日より日本刀数百振を集めて 五階ギャラリーに於て展覽會 参開健する新になつた、在京 愛刀家秘蔵の國賓銘刀数振も 出品される由時節柄一般より

新 京 石

サ炭 商 ビ組

スステー ションの開設

ステー ションを設けました

石炭の御相談に!(石炭の御註文其徳御用命を承ります小口の御用に!(百斤一麻袋から御屆り致します)御急ぎの御用に!(何時でも當座の御用命に應じます) 宮業開始 精 K 月一 3

官業場所 與安大路二十五番地(白菊町醫察官派出所拘鬥)角)

日

新京石炭商組合市內第日滿商事株式會社指定販賣店

2 ____ 意数大大

て居りますに於きまじても從前通 東二條通り三番地 3 3 3 三五六二 5 小 H 0 御用の麻袋詰を用 新 和 公 行 司

洋 煤 號 行 電話 333三一六九九 泰 界 山 行 日本橋通 話 3二一五六 22元七七七六六

あす國務院における盛儀 随員及び

京特別市公署では強てより 萬人を收容出來る 八公會堂を建設

南嶺に絲の廣場として

必要を痛感しこれが設立に関が強射層地移譲後に於ける国

田來上り次第着工されるもので設計が 優に五萬人を收

新天地の

妓館割當次定

二月より城内東門外に出現す

査研究中であったが

多質の受用を要する を俟つて大同公園門に建設される滿洲體育保健協會新窠體 で立て過般保健協會の理事會 を立て過般保健協會の理事會 る行情みの状態に置かれてるたが最近に到り満洲國常局に がでも國都の一機關として是 との議起り問題は早急に進展 との議起り問題は早急に進展 との議起り問題は早急に進展 との議起り問題は早急に進展 との議起り問題は早急に進展 との議としてと される公會堂の位置は南嶺府 し近に登結需品局に廻付し目 近でその設計中にありと聞く、新設 した株の廣場の中央に往普絢 した株の廣場の中央に往普絢

武勳に輝く興安軍の

表川各理事官 表川各理事官 表川各理事官

中央警察學校

道場落成

可令官等凱旋

軍事顧問少兵中校金川耕作氏 はけま午後六時廿分着あじあ で凱旋することらなつたが一 同は國軍職翻状况に就き五日 午前十時宮内府に参内、奏上 する筈である

一情に部隊長はじめ將校達もい一をなるで、て送つて来た、此純

明朝參內軍狀奏上

たく感激してゐる、此少女は 高松市龜阜小學校五年生の横 川人子さんで手紙の文面には 無双の兵隊さん御き下さつて不義を討つ忠勇 にお頻の兵隊さん御を計つ忠勇 で、學校で勉強が出来る遊れのおなをです、私達が毎日報の大め で、學校で勉強が出来る遊りで知りましたといふことを教慢して で知りましたといふことを新聞 で知りました、何かお馬の でなりない。

國庫債券賣 日か 出

同でな時局柄多數費捌を捌して居り費出期目前と錐6買受 新型の向は同局へ申込めば豫 新田來ることになつてゐる 一、賣出期間 自十一月十六 日 至十一月三十日 一、関債名稱 三分半利國軍

あ

す

(五日)

「る號」国債を左の修

豫約買受も出來る

昭和十二年十一 額面百畳に付 昭和三十年三

茂

ラ

重に於てはか | 何にすれば最も經濟的に煙を煙防止委員會も大いに力瘤

石炭ご遜色な

北京市民に精神的衝動

▲治外法權撤睽條約調印、午 ◆國防婦人會萬壽、櫻木、順 天三分會結成式、午後一時 軍人會館 東大三分會結成式、午後一時 一今時の主なる微塵放送

藤

利

昌

▲八・〇〇ラデオ社會面(大阪)龍速千外▲八・二五室内 樂「技楽四項奏」(東京)▲ (東京)木村軍勝

す、大日本萬蔵、兵除さんす、大日本萬蔵が一日も早く極の上で皆様の武運長人を前のしてをりまるよう御間の致してをりまるとのである。 大田本萬蔵・一日も早く極いる。 大田本萬蔵・一日も早く極いる。 大田本萬蔵・一日も早く極いる。 檀で熟量も普通石炭に比べて 何等遜色のない事が立置せら 位には行き相なので同委員會 ではこの割捌的な大競見に依 つて多年の馴染が一擧に解決 するのでばないかと大いに为 來たので試驗の結果、

スンの見本を送つて

率天より凱旋の豫定
管備除消骨一體四日午後三時 大村副總裁來京 体凱旋

、店員年齢十五歳より十五歳位迄 内地人數名履歷書持多の事 物希望の方は本人御来読められ度し 御希望の方は本人御来読められ度し 書野町二丁目 電(3)=1人へは 本人のでは、1000 では、1000 で 女店員中及

小守

衛日人一名

日人夫婦者

四十歲以下 三十歲前後

女補助員 女男校卒業多少タイピストノ

酒場オリエン 新京頭道灣郵局

寬城子西安屯

亞洲與業麵粉公司

御靴 0 御相談所 タケ +

三笠町二種(8)五二三六 靴店

御希望の方は本人至急來談下さい年齢二十歳より廿七、八歳迄の方 女中さん急募

古香鯛すべ

多次で

難郎七

のか十

ない、映画としては全球が足りないのも、での対域はであっては、大きな映画をしては発生を持っては発生を持っては発生を持っては発生を対しては発生を対しては発生を対しても、での対域はであったらう。時間はに汚いいのも、響くとしてが足りないのも、での対域はであったらう。時間はに汚いいのが出生を納得せした感じを受ける。のかないのも、のがとした感じを受ける。というないののが発したないである。というないののが発したないが、というないののが表したない。のかなり、では、というないのが、というないが、というないのが、というないのが、というないのが、というないのが、というないのが、というないのが、というないのが、というないのでは、というないるないのでは、といいのでは、といいのでは、といいのでは、といいいいのでは、といいのでは、といいのでは、といいいいのでは、といいのでは、といいのでは、といいのでは、といいいのでは、といいいのでは、といいいいのではないいいのでは、とい



敵國降 企劃としての成功 1 (都松作品)

活京都大國策映畵 秋大年っ 封日切活 滿洲映畵協會 耕二 主 玲 狂 兒 見斃新曾 せれの兵 日活ハワイ 常夏の國ハワ よて先令 ション敢行 流れるギ 念 キキの椰子の繁みに 全卷異國情緒溢る 1七覺一 音樂と舞踊の汎濫 與第 十者を 年大發 Ø. 深水藤子河部五郎 大口 が贈る歌と師り 行回配給 時村布 部田晴 0 局益し 大スペクタ 狂見

石井 漠

舞踊團

別

古賀政男

ータス大三・藝至の熟圓 た ふ 秋) 子かた江入.....代加

二九十林小•子美內坪•吉祐田岩• 寸通對桑 演主 造修山床 骨盆

るす職員と然敢に蔑侮と辱汚るざらかべふ拭!!暴慨の性男きべむ憎 . り語物讐復の疊重瀾波きしまぐ淚の性女き弱可

小島政二郎原作の場所では、「人妻権」の 名畵 間

祝满洲

映畵

協會創業

畫映迎歡朝歸子節原 人戀の界世 供提畵映寶東 作 特超・O・J

演主郎太彌 川黑・子蘭井花

信止約官 音 錄•三 民 田 石 出廣 • 郎四濱白色脚風梢松村作原 • 夫一山,作製載連每大日東

を作原の異特氏風梢松村るれ亂入てつぐめを門宗丹支切と康家川徳 11 篇心野の年多 · O · J るたし化畵映

たしまり参がんやちルプムテでに々久作特超社スクツオフ紀世廿

の後最が畵映本は畵映カリメア々愈 ! 非是く無し逃見御すで映上

極東船客同盟

立士先當現 立士 玉小高大 現 ▲ 月月 ●月月●先獨 ● 服殿限限物高限限大 委豆架豆 物新 梁 平 物

十月下旬に於ける新京商記権 要は南工倉護所調査によるに 次の如くであつた

| 一新京商工會議所調査| | 三頭九十錠と寄付保合

海外經濟電報

各地特産市况

况欄四日

間島省へ鮮農 で 十月廿五日をもつて入植を完了す でした問島省汪濱縣鰡子溝へ は でした問島省汪濱縣鰡子溝へ は でした問島省汪濱縣鰡子溝へ は でした問島省王濱縣鰡子溝へ は でした問島省王濱縣

十月下旬に於

ける

林檎倭錦の入荷を見た特は季節外れとなり代つて等は季節外れとなり代つて

新京商况概要

生計 上騰示す

本年中に於ける最高位

がら保合裡に推移、商内はに構底を楽し相場強合ななに構底を楽し相場強合なな

第 8 第 4

育 훠 四分七

三 課 日(二)

日面内を見たのみ、商況開 散、相場も釘付けのまゝ越 第10年

七銭、鐵五十四条

商内活況裡と三

金

銀

市況

工程●二 月 服伽豆服 土現る

重要強力

1158

映画御案内

豊楽劇場

展先遺験は全部別館慶尙北道 の農民で一九四戸一、〇六五 名に上つたが入植部落別内澤 左の如し 大 平 溝 四九戸 二六三名 三預河子 九八戸 六六二名 編資盃子 四七戸 二四〇名

内依然開散裡に越月したため二十銭方低落せる外他品は強れも保合ひのま、商品は独れも保合ひのま、商

ない眼を昇野の方に向けて ない眼を昇野の方に向けて ない眼を昇野の方に向けて ない眼を昇野の方に向けて さつき、椅子を立ち上つた。

『二三十分 前から

第一回 第一回 第一回 美女傳 東寶映畵

にして、節り場へ

流れていっつ なく悪行の なく悪行の なく、変行の ない。これでは、

開きりなが

たぶん、

の金之助だ でない。同窓費

新京キネラ ショウ △近日公演▽ 新京キネマ 近日公開△ 航ワイ 豐樂劇場

中篇 1-92 4-44 8-00 0 三日より五日まで

本

新京主李

良人の貞操

近 演

12.00

10024

3.40

8.54

5.36

7.20

7.04

てえ燃に氣意の新革界浪

座生新

京來躍勇にか 5

記



根齋特

帶道具の御用なら 信用ある當店で 商 店



岡婚禮用衣裳 ご精巧なカズラを取扱揃へて居ます ダイヤ街通り(老松ビル) II 是非當院 老松美粧 是話③六三四九番

書類一切 手續一般調査各 手續一般調査各 の他 業 条 鎖

特別大賣出 出し期間中は特別勉强致します。 十日までり 京東二條通四一

新京金融組合

個決定競表を見たるもの場ではいい。

最

『うそよー―學校の宿宿を以 集まるんですから――』

各地株式市况

『味目ですってばーー』 を子は、鍵をはなれて、くるりごふりかへつて

ため紡績、輸出業者共

ゴム其他追

配給統制が主目

0

制限

各地商 品市

内地物は極度の品不足を必 荷別観き歩々しからず、特 一般に甍行良好なるも、入

し、二圓五十銭、二圓方夫々暴騰、葡萄亦品薄っため二十銭方上伸、岡光は産増安により三十銭方、パナナは品傷みのため三圓方夫々

その吸ひ付くやうな視線のその吸ひ付くやうな視線の上り

想がまってから、まってから、

なのですーーいなのですーーい ませんか

SASASASASASASASASASASASASASASASASAS

電店 2

マネント部新 設

料金五錢
